

第4次小平市子ども読書活動推進計画

— 子どもが本と出会うために —

【令和5年度進捗状況】

令和6年9月
小平市教育委員会

目 次

第 1 家庭における読書活動の推進	・ ・ ・ 1
第 2 学校等における読書活動の推進	・ ・ ・ 4
第 3 図書館・地域における読書活動の推進	・ ・ ・ 7

【第4次小平市子ども読書活動推進計画】令和5年度 進捗状況調査報告書

1 家庭における読書活動の推進

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和5年度実績	今後の実施予定
1	乳幼児とその保護者へのサービス	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児タイムの実施 乳幼児と保護者が、読み聞かせする声などを気兼ねすることなく図書館に滞在できる時間帯を設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館で毎週火曜日午前10時30分から正午まで「乳幼児タイム」を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区図書館での実施も検討する。
			<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児と保護者が安心して長い時間図書館で過ごせる環境づくり ・小川駅西口新公共床に整備予定の新しい小川西町図書館を、誰もがくつろいで滞在できる場とする環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館の乳幼児コーナーに、ウレタンマットを敷くなど、安心して利用できるような環境づくりを行った。 ・図書館では、良質な本をまとめて選び、自宅でゆっくり楽しめるように、各館で絵本の展示やパック貸出を行った。 ・新しい小川西町図書館の設計について、図書館利用者にとって居心地の良い施設が実現できるよう引き続き調整した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して心地よく図書館利用ができるよう、図書館の環境づくりに努める。
2	ブックスタートの実施	新) こども家庭センター 旧) 健康推進課 ・図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・3～4 か月児健診時、こどもと保護者にボランティアが読み聞かせをした後で絵本を配付 	<ul style="list-style-type: none"> ・3～4 か月児健康診査時にこどもと保護者に対し、ボランティアの読み聞かせの後で絵本を手渡すブックスタート事業（平成30年4月始）を引き続き実施した。年間で24回実施し、受診者1,239名と、欠席者には郵送で、合計1,249冊の絵本と赤ちゃん絵本リスト、図書館利用者登録申込書を配付した。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止していた絵本の読み聞かせは、令和5年3月2回目から図書館職員のみで再開し、令和5年5月1回目から、ボランティアの活動を再開した） ・読み聞かせのボランティア向け講演会「読み聞かせデビューは何歳から～絵本の読み聞かせが幼児にもたらすもの～」講師：白梅学園大学教授 参加：31名 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中に図書館を利用するきっかけづくり、また絵本を活用した子育て促進の場として充実を図る。 ・家庭においても絵本を通じたこどもと保護者とのふれあいの時間を持ってもらうきっかけづくりとする。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和5年度実績	今後の実施予定
3	図書館における行事の定期的な開催	図書館	<ul style="list-style-type: none"> 各図書館で「おはなし会」、「絵本のへや」を定期的で開催し、また季節に合わせた特別なおはなし会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> 定例のおはなし会【全館】 4歳児から小学生の部：計191回 参加：延べ927名 平日昼間は、働いている保護者が多いことや、授業等で図書館に来られない子どもたちが多くことから、土曜日、日曜日のおはなし会を継続して実施した。 「よるのおはなし会」【全館】 (夏の季節に合わせた少し怖い内容のおはなし会) 計8回 参加：延べ272名 「スペシャルおはなし会」【全館】 (クリスマスシーズンに合わせたおはなし会) 計8回 参加：延べ200名 「絵本のへや」【全館】 (0歳児からのこどもと保護者を対象とした絵本の読み聞かせや手遊び、わらべうた等) 計94回 参加：延べ993名 4月23日の「子ども読書の日」に合わせて4月1日から5月17日を「こだいら子ども読書月間」とし、全館で絵本の展示や本のセットの貸出し、読書ノートの配布等、こどもと本を結ぶ行事を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> 土曜日、日曜日のおはなし会では、平日に来られない子どもたちや保護者に参加してもらうことができたため、継続して実施する。 「よるのおはなし会」、「スペシャルおはなし会」は、こどもが多く集まる会だったため、適正な人数を検討し、内容を工夫して今後も開催する。
4	これから子育てをする方へのサービス	図書館	<ul style="list-style-type: none"> これから子育てをする方へ向けた、「プレパパ・プレママおはなし会」の定例的な開催の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「プレパパ・プレママおはなし会」は中止した。 対面を要さない企画として、出産を控えた方や3歳までのこどもがいる家庭を対象に、育児本や絵本、自宅で楽しめるわらべ歌のリストなどをセットにした「本で子育ておうえんセット」の貸出を全館で行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 対面せずにできる企画も含めて検討する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和5年度実績	今後の実施予定
5	おはなし室の開放	図書館	・乳幼児と保護者が、絵本とふれあいながら図書館で過ごせるよう、おすすめ絵本を揃えた上でおはなし室を開放	・乳幼児と保護者が参加する「絵本のへや」の後におはなし室を開放し、親子で絵本を楽しむ場を提供した。	・周囲に気兼ねなく絵本を楽しむ場を提供できただけでなく、「絵本のへや」に参加した親子同士の交流を生むきっかけにもなったため、継続して実施する。
6	子育て支援課との連携	子育て支援課	・「子育てガイド」の発行、こども向け図書館行事の掲載	・「こだいら子育てガイド」に図書館情報やこども向け図書館行事の案内を掲載して 9,000 部発行し、図書館のほか、公民館、保育園、関係機関等、子育て世代の利用者の目に触れる場所に設置した。 ・母子健康手帳交付時・転入手続き（手当等）時や子育て中の保護者の目に触れるよう、各公共施設等に設置したことで、図書館の情報を発信することができた。	・今後も継続して実施し、情報提供する。
		図書館	・子育て支援課発行の、子育てに関するガイドブックの受け入れ	・図書館情報も掲載した「こだいら子育てガイド」を図書館資料として受け入れ、地域資料コーナーに配架した。また、配布用に子育て関連コーナーに設置した。	・今後も相互協力を行い、それぞれの情報が子育て世代の家庭に届けられるよう努める。

2 学校等における読書活動の推進

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和5年度実績	今後の実施予定
1	学校図書館指導年間計画の作成と実施	学校・指導課	・各教科等の学習活動と読書活動推進に関わる計画を作成し、図書館利用の促進、読書時間の確保等の実施	・全ての小・中学校で読書活動に関わる全体計画及び年間指導計画を作成した。 ・各教科等の授業において、学習内容と関連付け、学校図書館の利用を促進した。また、読書活動の時間を、年間を通して計画的に確保し、児童・生徒が読書に親しめるようにした。	・全体計画と年間指導計画の内容について適切な実施を継続して行う。 ・各教科等の授業において、年間指導計画に沿った学校図書館の活用と読書活動の時間の確保について、継続して行う。
2	学習情報センター機能の充実	指導課・図書館	・こどもが主体的に問題解決のための情報収集や探究活動に取り組む能力を育成するための、学校図書館における学習情報センター機能の充実	・学校図書館協力員の名称を令和5年度より学校司書へ変更した。 ・学校司書を対象に研修を行い、学校図書館の機能の理解・啓発を行った。	・学習情報センター機能の充実を図り、今後も継続して行う。
3	学校図書館システムの整備	学校学務課	・学校図書館システムの活用	・学校図書館システムを活用して児童・生徒の登録を行い、図書の貸出、返却、予約などの管理業務を行った。	・今後も、学校図書館システムを活用して児童・生徒の登録を行い、図書の貸出、返却、予約などの管理業務を行う。
		図書館	・学校図書館システムの環境整備	・学校連携推進館である仲町図書館に配置されている学校図書館相談員が、学校図書館システム操作関連の相談に対応した。 ・学校図書館システムの掲示板機能やメール機能、共有フォルダ機能を活用することで、学校司書との連絡や情報共有を行った。	・今後も、学校図書館システムの掲示板機能やメール機能の更なる活用を進め、仲町図書館を中心とした学校司書の情報共有を図る。また、共有フォルダ機能の活用により、学校司書の研修の更なる充実を図る。
4	学校における市立図書館資料の活用	学校	・図書館の調べ学習用図書の貸出（特別団体貸出）や、年度ごとの学級文庫用の図書貸出（団体貸出）と、学校での活用	・図書館が所蔵する資料等を借用し、調べ学習等の授業において活用した。	・今後も活用する。
		図書館		・調べ学習図書の貸出： 小学校 13,785冊 中学校 344冊 ・学級文庫への貸出： 小学校 10,200冊 中学校 0冊	

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和5年度実績	今後の実施予定
5	図書の購入方針・廃棄基準の整備	学務課・学校	・学校ごとの購入方針・廃棄基準の整備、蔵書の整備	・国基準の達成に向けて、各学校の購入方針（蔵書率の国基準達成）を考慮した予算を令達した。 ・学校ごとの廃棄基準については、全国学校図書館協議会で作成している「学校図書館図書廃棄基準」に準拠し、計画的な廃棄に基づく図書の入れ替えを進めた。	・学校への令達予算により各校の裁量を確保しつつ、購入と廃棄のバランスを図り、国基準の達成を目指す。 ・国基準を達成しつつ、新書率を高めることで魅力ある学校図書館づくりに努める。
6	学校図書館担当教諭の資質向上	指導課・学校	・各学校との情報交換及び学校図書館担当教諭の指導力の向上	・年1回の学校図書館司書教諭等連絡協議会において、他校や他自治体、教員と学校司書との効果的な連携等を共有するなどして、担当教諭の指導力向上を図った。	・児童・生徒の読書意欲を高めるための指導の工夫について、事例を共有するなどして引き続き取り組む。
7	啓発・広報の充実	学校	・読書週間の活用、図書館だよりの発行等	・各学校において、年度当初や読書週間に図書館だよりを発行した。	・今後も、読書への関心が深まるような広報を継続して実施する。
8	児童・生徒の主体的な読書活動の推進	学校	・図書委員会の取組や児童・生徒自身による主体的な読書活動の活発化	・一部の学校において、読書習慣の定着や言語活動の充実、及び発信する力の育成を図るため「ビブリオバトル」を行った。	・今後も、児童・生徒の主体的な読書活動を活発化するために、児童会・生徒会を中心とした主体的な取組事例を共有する。
9	小・中学校の学校図書館の機能の充実	図書館・指導課・学校	・学校図書館の役割である「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能の充実	・学校図書館司書教諭等連絡協議会を年1回開催し、これからの学校図書館のあり方について学ぶとともに、各校の取組について情報交換を行った。	・児童・生徒の主体的な探究活動につながる機能の充実に努める。 ・学校図書館の現状を把握し、機能の充実を検討する。
10	学校司書（学校図書館協力員）への研修会の開催	図書館・学校	・学校司書（学校図書館協力員）への研修会の実施	・学校司書への研修会を中央図書館等にて5回実施した。参加：延べ109名 ・学校図書館協力員の名称を令和5年度より学校司書へ変更した。（再掲）	・今後も、研修会を定期的に行い、学校司書の資質の向上に努める。
11	小・中学校における学校図書館システムの活用支援	図書館	・学校図書館システム操作に関わる支援	・学校連携推進館である仲町図書館に配置されている学校図書館相談員により、システム操作関連の相談に対応した。	・今後も、図書の受入れ・廃棄や蔵書点検、児童の進級に関するデータ処理等、システムに関する相談支援を継続する。
12	特別な支援を必要とする子どもへの読書活動の支援	図書館	・特別な支援を必要とするこどもの特性に配慮した読書環境の整備と読書機会の充実 ・「サピエ」からダウンロードしたダイジェスト図書の貸出や、図書館所蔵のダイジェスト図書、布の絵本、LLブック等の学校図書館への提供による読書活動の支援	・図書館で、布の絵本・遊具や点訳絵本、児童書のダイジェスト図書や大活字本、外国語の絵本等を収集・配架した。 ・図書館において「発達障がい啓発特別展示」や「障害者週間特別展示」で、ダイジェスト図書、マルチメディアダイジェスト図書、LLブックなどの展示をし、通常の活字を読むことが困難な子どもに対して様々な形態の資料を紹介した。	・今後も、支援を必要としている子どもや周りの大人へ情報の周知に努める。 ・今後も、学校図書館との連携を図る。 ・読書バリアフリー法に基づく学校図書館の施策のあり方について研究する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和5年度実績	今後の実施予定
		指導課・学校	・読書バリアフリー法に基づく、視覚障がい等のあるこどもが学校図書館を利用しやすくなる施策のあり方の研究	・個別の実態に応じた図書を、図書館と連携して準備・活用した。 ・図書館と連携し、児童・生徒の多様な興味や学習のニーズに応じて、幅広いジャンルやテーマの本を揃えた。また、こどもたちの特性を考慮して、写真や図、絵が多くある本や短編集等の内容が簡潔にまとめられている本なども揃えた。 ・発達障がい啓発特別展示では、図書館、障がい者支援課が行う展示とともに、指導課では小平市立学校の特別支援教育についての展示を行った。	・今後も図書館と連携し、読みたい本を探しやすい配架の工夫などの環境整備に努める。
13 ・ 15	幼稚園の図書館見学 幼稚園における読書活動の推進	図書館	・幼稚園の図書館見学の受け入れ ・読み聞かせに関する講座の保護者への情報提供	・市内幼稚園の図書館見学を中央図書館で1園受け入れた。館内の見学の他、児童コーナーの絵本の探し方や利用の際の注意点を伝えるなど、こどもたちの今後の図書館利用に役立つような内容を説明した。 幼稚園の図書館見学受入れ：1園 参加：50名	・図書館見学では、こどもたちの興味を引き、図書館の面白さを直接伝えることができたため、今後も継続して実施する。
14	保育園における読書活動の推進	保育課	・保育士による絵本の読み聞かせや、小平市子ども文庫連絡協議会の「いとぐるま」によるおはなし会の実施	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染症対策を十分に講じた上で、保育士がこどもたちに日々読み聞かせを行い、こどもたちが自ら絵本を手にとることができる環境を年齢に応じて整えた。 ・読書週間の前後に、「絵本に出てくるメニュー」を給食として8回提供した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していた「おはなし会」を令和5年度より再開した。 おはなし会実施回数：78回（9園）	・こどもたちが絵本と触れ合うことで触発された様々な興味関心が、保育内容の充実につながり、それが更なる読書活動の推進となるため、引き続き取り組む。

3 図書館・地域における読書活動の推進

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和5年度実績	今後の実施予定
1	小学校入学年時における図書館案内	図書館・学校	・すべての新1年生に対して、入学時に学校を通して子ども用図書館案内を配布	・図書館の夏休みおすすめ本リスト配付時に、1年生に対して利用登録申込書を配付した。	・すべての子どもたちにもれなく情報が届けられるよう学校と連携する。
2	小・中学校向けの「夏休みおすすめ本リスト」の作成・全校配布	図書館	・図書館職員が選んだ、夏休みに子どもたちに読んでほしい本の紹介リストを作成し、市内小・中学校に配布。また、夏休み期間に全館でおすすめ本とリストを別置	・小学校低学年、中学年、高学年用に各18冊、中学生用に18冊を紹介したリストを市立小・中学校の子どもたち全員に配付するとともに、図書館に別置コーナーを設けた。 別置冊数：小学生1,491冊、中学生397冊	・今後も楽しく読める良質な本を紹介する。
3	小学生から高校生向けの参加型図書館行事の開催	図書館	・図書館の仕事を体験してもらう企画として、小・中学生向けには「夏休み家族一日図書館員」、高校生向けには「図書館ボランティア体験」の開催	図書館で次の行事を実施した。 ・「夏休み家族一日図書館員」【全館】参加：25名 ・「図書館の本で調べて、メダカのくらしをのぞいてみよう」【上宿図書館・小川西町図書館】参加：13名 ・「折り紙であそぼう！」【大沼図書館・花小金井図書館】参加27名 ・中・高校生向け「図書館ボランティア体験」【中央図書館】参加：7名 ・「ぬいぐるみのおとまり会」【中央図書館】参加：10名 ・「英語の絵本の読み聞かせとお話の創作」【中央図書館】参加：5名 ・「冬休み子ども落語会」【仲町図書館】参加：36名 ・「絵本の世界を体験しよう！」【仲町図書館】参加：17名 ・「大道芸人絵本作家がやってくる」【喜平図書館】参加：45名 ・「英語でおはなし会」【中央図書館】参加：35名	・今後も小学生から高校生の世代の関心をひくような内容の行事の実施を検討する。
4	市内小・中学校におけるブックトークの実施	図書館・学校	・学校からの依頼により、図書館職員が授業や全校集会においてブックトークを実施	・小学校6校・中学校1校からの依頼により、図書館職員が学校に出向き、授業のテーマに合ったブックトークを行った。なお、クラス単位での実施や、体育館での実施、各クラスへの全校放送での実施など、学校の状況に応じて実施した。	・今後も子どもたちの読書活動のきっかけとなるよう様々な分野の本を取り入れたブックトークを行い、また、新たなテーマでのプログラム作成を検討する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和5年度実績	今後の実施予定
5	読み聞かせに関する講座の実施	図書館	・図書館員を講師とした読み聞かせの講座の実施や絵本の紹介等	・小学校の学校図書館協力員に講師を依頼し、学校や地域で子どもたちに読み聞かせの機会のあるボランティア等を対象に「絵本の読み聞かせ実践講座」を開催した。参加：11名	・良質な本の選び方や読み聞かせについての講義と、読み聞かせの実践の両方が学べる講座であるため、今後も実施する。
		公民館	・こどもの読書に関わる講座を実施	・上水南公民館の子育て支援講座「子どもと絵本を楽しもう」において、未就園児の親子を対象として、絵本から広がるあそび、絵本の楽しみ方などを紹介した。受講者 24名 ・仲町公民館の地域支援講座「絵本をたのしもう」において、幅広い世代を対象として実施する中で、子育てに役立つ絵本の魅力や読み聞かせのポイント等を紹介した。受講者 15名 ・仲町公民館のジュニア講座「デジタル絵本づくり」において、小学生を対象として、物語を考え、タブレット端末を使ってミニ絵本をつくる講座を実施した。受講者 18名	・絵本を通し、こどもの感受性や創造性を豊かにし、親子のコミュニケーションを図る機会の創出につながる講座の実施に努める。
		地域学習支援課	・「小平地域教育サポート・ネット事業」における地域住民等のボランティア対象の研修等において、図書館員を講師とした講座等を実施	・学校図書館ボランティアの養成等を目的とする講座を、11校で16講座実施した。参加：延べ199名	・今後も継続を図り、こどもの読書環境の充実につなげる。
6	子どもたちにとって魅力ある図書館の環境整備	図書館	・ティーンズコーナーの充実、環境整備	・各図書館のティーンズコーナーに、ティーンズ世代向けの図書・雑誌を収集・配架し、ティーンズ世代に興味・関心をもってもらうための取組を行った。 ・中央図書館では、「仕事」「進路」「部活」に関する本の展示や、科学の魅力について多様な視点から知る機会を提供するため、「科学道 100冊」の展示を行った。 ・ティーンズ委員会で「ティーンズ委員会大賞」の本を選び、結果をポスターで各図書館に掲示した。委員が大賞本のPOPを作成し、仲町図書館ティーンズコーナーで大賞本・大賞候補本とともに展示した。	・今後も中・高生を中心としたティーンズ世代の関心を引くような内容の展示・行事の企画に努める。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和5年度実績	今後の実施予定
7	子どもの読書推進の支援	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ こどもの自発的な読書につながる取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「読書ノート」を作成して秋の読書週間に配布及びホームページに掲載し、本を5冊読んだ記録を図書館に提出したこどもにプレゼントを渡す企画を実施した。 ・ 科学の魅力について多様な視点から知る機会を提供するため、「科学道 100冊」の展示を行った（再掲）。 ・ 読書のきっかけとなり、その後の学習や読書活動につながるものとして令和3年度に導入した学習マンガの新規購入を継続して行った。 ・ 本を選べないこどもが本を手取るきっかけ作り、自分では選べない本を読む機会の提供として、テーマと年齢ごとにまとめた本のセットの貸出を行った。 ・ 本を借りておみくじを引くイベントや、絵本の内容についてのクイズを解いてもらうイベントを実施した。 ・ 各館の児童書展示コーナーにおいて、季節に応じた図書の展示を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作成した読書ノートを、イベント性を持たせながら活用する。 ・ 今後も自発的な読書を促す取組として、こどもが楽しく参加し、本に親しめるような取組を企画する。
8	職場体験、奉仕体験、インターンシップや実習生の受入れ	図書館・学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の様々な業務を体験してもらう中学生の職場体験の受入れ ・ 司書資格修得を目指す大学生の実習等の受入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場体験として中学生42名、高校生2名を受入れた。 ・ インターンシップ実習生として大学生2名を受入れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後もキャリア教育の一環として、また、図書館サービスへの理解を深める機会を提供するため実施する。
9	ティーンズ委員会の開催	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10代の中高生を募集してティーンズ委員会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4回の委員会を開催した。 ・ 委員による話し合いのもと、フィクション部門・ノンフィクション部門で各1冊の大賞作品を選出した。 ・ 委員が大賞本等のPOPを作成し、仲町図書館ティーンズコーナーにて大賞本・大賞候補本とともに展示した。（再掲） ・ 大賞決定に関するポスターを市内中学校・各図書館に配布し周知を図った。（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も学校図書館等と一層の連携を行い、ティーンズ委員会の周知を図る。同時に多様な参加者による交流の機会を提供することにより、青少年の読書活動の推進を図る。
10	情報リテラシーの支援	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ レファレンスサービスの充実、情報リテラシーを養うための企画の検討及び啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小平市立図書館ホームページ上で「ネットde古文書講座夏休みスペシャル」を公開した。あわせて図書館で所蔵する古文書の参考資料を紹介した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中・高生に対するレファレンスの充実を図るとともに、情報の正しい評価・活用方法等が身に付く企画を検討する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和5年度実績	今後の実施予定
11	アーカイブの利活用促進	図書館	・郷土学習に「こだいらデジタルアーカイブ」を利活用してもらうための講座・イベント等の開催	・「こだいらデジタルアーカイブ」の利活用を紹介する講演会「小平の神社の歴史」について、市報に掲載したほか、市内高等学校へチラシの配布を行った。	・デジタルアーカイブを活用したイベント等の実施を検討する。
12	市内の高等学校との情報交換	図書館	・高校生の読書推進や図書館利用につながる展示、行事の開催	・科学の魅力について多様な視点から知る機会を提供するため、「科学道 100 冊」の展示を行った（再掲）	・高校生が必要としていることや、学校生活の中で役立つことなどに応じた企画を検討する。
13	特別な支援を必要とする子どもへの支援	図書館	・布の絵本・遊具、点訳絵本や録音図書、大活字本、外国語の図書・絵本の充実 ・「サピエ」からダウンロードしたデジ図書の貸出 ・デジ図書・マルチメディアデジ図書、LLブック、大活字本等のPR ・読書バリアフリー法に基づく、視覚障がい等のある子どもが市立図書館を利用しやすくなる施策のあり方の研究	・サピエからのダウンロードを含むデジ図書 555 タイトルについて個人貸出を行った。 ・「発達障がい啓発特別展示」や「障害者週間特別展示」で、デジ図書、マルチメディアデジ図書、LLブックなどの展示をし、通常活字を読むことが困難な子どもに対して様々な形態の資料を紹介した。 発達障がい啓発特別展示では、障がい者支援課と連携して、ペアレントメンター（発達障がいの子どもを持つ親の相談員）事業、白梅学園大学小平市連携療育事業、子ども家庭支援センター事業、児童発達支援センターの紹介も併せて展示した。また、指導課では小平市立学校の特別支援教育についての展示を行った。 （再掲）	・引き続き、通常活字資料の利用に困難がある子どもの読書を支援する資料・体制の充実に努める。 ・今後も支援を必要としている子どもや周りの大人たちに情報が届くよう努める。 ・読書バリアフリー法に基づく図書館の施策のあり方について研究する。
14	ホームページの充実	図書館	・見やすく使いやすいホームページを目指した内容の充実	・図書館で行っている展示の資料リストを図書館ホームページから閲覧して予約もできるように Web-OPAC に掲載し、利用者が自宅から予約する資料を選択しやすくした。	・図書館のホームページをさらに見やすく使いやすくし、魅力ある情報を伝えられるよう充実に努める。
15	小平市子ども文庫連絡協議会への支援	図書館	・地域で子どもの読書活動推進のための活動を行う小平市子ども文庫連絡協議会に対する活動場所の提供や行事の共催等による支援	・協議会の自主活動の場所の提供及び市との共催行事を実施した。 【共催行事】 ・児童文学講演会「絵本からはじめる恐竜と進化のお話」参加：67名 ・子どもが感じているおはなしの世界を大人にも体験してもらう「大人のためのおはなし会」参加：9名	・小平市子ども文庫連絡協議会による図書館行事への協力など、今後も相互協力する。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和5年度実績	今後の実施予定
16	児童館における読書活動の推進	子育て支援課	・児童館内の図書コーナーの充実と絵本の読み聞かせや紙芝居などの行事の開催	<p>・各館で読み聞かせイベントを実施した。</p> <p>【花小金井南児童館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かみしばいサークル「ともしび」による、紙芝居の読み聞かせを隔月実施 参加：延べ124名 ・乳幼児向け絵本、小学生向けマンガの追加 ・保護者向けに子育て情報誌を定期購読で追加 ・こども会議内で読みたい本や漫画についてのアンケートを実施、検討、購入 ・ふれあいデーや親子クラスなどの乳幼児向けイベントの中での職員による読み聞かせ。 <p>【小川町二丁目児童館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児向けの読み聞かせイベントを毎月1回実施 参加：延べ196名 ・乳幼児向け、小学生向けに読み物・マンガを追加。 ・乳幼児保護者向けのおすすめ絵本や子育てに関する書籍のコーナーを設置 <p>【小川町一丁目児童館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児向けの読み聞かせイベントとして「いっしょにおはなし」を月1回実施 参加：延べ134名 ・乳幼児向け、小学生向けに読み物を追加。 ・乳幼児、小学生向けにおすすめ本コーナーを設置。毎月職員が選定して紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の実態に合わせた書籍の選定を、継続して行う。 ・引き続き、中・高生が興味を持つ雑誌や書籍・マンガを購入する。 ・「ふれあいあそび」や「親子クラス」での乳幼児に対する読み聞かせ、職員推薦図書の紹介を引き続き実施する。
17	放課後子ども教室における読書活動の推進	地域学習支援課	・絵本の読み聞かせや紙芝居等の実施	・小学校全校で実施している放課後子ども教室において、紙芝居・読み聞かせ等の教室を11校で開催した。	・今後も、放課後子ども教室の事業継続を図り、こどもの読書活動につなげる。
18	学童クラブにおける読書活動の推進	子育て支援課	・学童クラブ内の図書コーナーの充実と読書の時間の確保及び読み聞かせの実施	・学童クラブにおいて、新たに791冊（うちマンガ本485冊）を購入し、充実に努めた。	・今後も、図書コーナーの充実を継続実施する。
19	児童文学講演会の開催	図書館	・大人に向けた児童文学に関する講演会等の開催	<p>・小平市子ども文庫連絡協議会との共催行事として、児童文学に関する講演会を開催した。</p> <p>【共催行事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童文学講演会「絵本からはじめる恐竜と進化のお話」参加：会場67名（再掲） 	・小平市子ども文庫連絡協議会と協力しながら大人に対する児童文学の啓発に取り組む。

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	令和5年度実績	今後の実施予定
20	リサイクル本の提供	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ブックリサイクル予定の本を市内の保育園等に提供 	<ul style="list-style-type: none"> 市立保育園で活用してもらうため、保育課へ285冊の資料を提供した。図書館でも常設のブックリサイクルコーナーを設置し、児童書等7,687冊の提供を行い有効活用に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関の要望に応えるとともに、リサイクル本の有効活用ができるよう、今後も継続して提供していく。
21	子ども読書の日にちなんだ行事の開催	図書館	<ul style="list-style-type: none"> 「子ども読書の日（4月23日）」にちなんだ行事の開催 <p>※注）「子ども読書の日」は、国民に広くこどもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、こどもが積極的に読書活動を行う意欲を高めることを目的に「子どもの読書活動の推進に関する法律」第十条により定められている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4月1日から5月17日の期間を「こだいら子ども読書月間」とし、各館で「おはなし会で読まれた絵本」や、布の遊具・絵本の展示を行った。また、分室を含めた全館で読書ノートの配布を行い、本を5冊読んだ記録を図書館に提出したこどもにプレゼントを渡す企画を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 「こだいら子ども読書月間」は、全館における取組としていることから、市内全域で読書に対するこどもの関心を高めることができるため、今後も継続して実施する。

第 4 次 小 平 市 子 ど も 読 書 活 動 推 進 計 画
【 令 和 5 年 度 進 捗 状 況 】

発 行 令 和 6 年 9 月
編 集 ・ 発 行 小 平 市 中 央 図 書 館
小 平 市 小 川 町 2 丁 目 1325 番 地
電 話 042 - 345 - 1246 (代 表)
電 子 メール tosyokan@city.kodaira.lg.jp